

2022年02月04日

【格付維持】

伊予銀行

発行体格付： A+ [格付の方向性：安定的]
短期債務： a-1

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

愛媛県を中心として瀬戸内圏に広範な店舗網を持つ地域銀行で、営業基盤は強固。とりわけ、地元の海運関連業を対象にした融資（船舶金融）に強みがある。シンガポール支店での船舶金融の顧客基盤も着実に広がっている。人口減少や高齢化、低金利環境など銀行を取り巻く厳しい環境を踏まえ、将来を見据えたデジタル化投資を積極的に行っている。

収益力は格付対比で改善の余地があるが、市場運用やシンガポールでの貸し出し増強によって持ち直してきている。一方、デジタル化投資で経費は高止まりしており、その効果の発現には時間がかかる。2021年度から3か年の新中計における連結コア業務粗利益や連結OHRの目標は2020年度実績からほぼ横ばいを計画している。収益の動向に注目していく。

リスク耐久力はAゾーンに見合う。市場リスクを主体に抱えるリスクは比較的大きいが資本に厚みがある。金利リスクを中心にリスク量の緩やかな増加が続くとみている。内部留保の蓄積力があり、バンキング勘定の金利リスク（IRRBB）の規制に配慮する必要があることも踏まえると、リスク耐久力が大きく悪化する懸念は小さい。資本管理をはじめとする各種の管理態勢が充実している。所要調達額の大きい外貨流動性にも問題はない。

資産の質は健全だ。船舶金融は市況悪化への耐久力に優れる有力船主を中心に取引し、信用リスクを抑制している。海運市況の改善を受けて船舶金融の質は良化傾向が続いている。コロナ影響が長期化するなかで資産の質には全体として負荷がかかる状況が続くため、貸倒引当金を保守的に積んで環境の悪化に備えている。

【格付対象】

発行者：伊予銀行（証券コード：8385）

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A+（維持）	安定的

名称	格付
短期債務	a-1（維持）

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先：経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	若井 恭兵
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	住田 直伸

信用格付を付与した日	2022年02月04日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021.06.01] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2020.03.23] 預金取扱金融機関 [2019.02.21]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	伊予銀行
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当)

TEL. 03-6273-7471
TEL. 03-6273-7273

E-mail infodept@r-i.co.jp

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。